

豊能町賑わい創出施設整備に係るPFI導入可能性調査業務 質疑及び回答一覧

質疑番号	質 疑 事 項	回 答 内 容
1	<p>募集要項 P4 6. 企画提案書について (4) 提出部数：正1部、副5部とありますが、社名は正本のみで副本には社名など提案者が特定できるものの記述は認められないという理解で良いでしょうか。 なお、上記の考え方は参考見積書も同様という理解で良いでしょうか。</p>	<p>正は、原本、副は、原本の写しとなりますので、社名等の記載があるものになります。 参考見積書についても、正は、原本、副は、原本の写しとなります。</p>
2	<p>募集要項 P6 9. プレゼンテーションについて ①プレゼンテーションは企画提案書に沿って進め、新たな追加資料の配布は認めない。とありますが、企画提案書を箇条書きなどで整理した概要をパワーポイントで整理して発表することは可能でしょうか。</p>	<p>提出いただいた企画提案書の内容が変わるものでなければ、箇条書きなどで整理して発表することは可能です。</p>
3	<p>募集要項及び仕様書 目的について 確認ですが、本業務において集約する公共施設機能は「豊能町公共施設再編に関する基本方針」で記載されている中央公民館、郷土資料館、老人福祉センター永寿荘、ふれあい文化センター、国民健康保険診療所の5施設という理解で良いでしょうか。</p>	<p>公共施設再編整備については、中央公民館、郷土資料館、老人福祉センター永寿荘、ふれあい文化センター、国民健康保険診療所の5施設の集約を行い、特記仕様書第3条に記載している、別紙対象地区図の赤線枠の敷地内で約1,500㎡の規模で公共施設再編整備を予定しています。 今回の公募業務については、上記の公共施設再編整備とは別に、公共施設再編整備予定の施設周辺において「道の駅」を中核とする賑わい創出の施設整備と整備後の管理運営にあたる民間資金等の活用（PFI導入）の可能性を調査し、道の駅整備の可否判断の材料を得ることを目的としています。</p>